

平成23年 9月 5日

各 位

まちなか里山公園づくりの会

次回(9月10日)の作業予定について

前 略

歩く速度の台風12号、あちこちに大雨を降らせて被害は甚大な様相です。

この雨が遠のけば秋になるのでしょうか。お元気のことと存じます。

さて、8月27日作業では竹垣の回りの膨大なゴミ処理を済ませ、広々としたスペースができました。あと数カ所このような垣根を組んで新規伐採の準備、そして、いよいよ伐採の本番を迎えます。

大変ご苦労さまでした。きれいな竹林を夢みてがんばっていきましょう。

9月10日(雨天なら9月17日)の作業の中心は「新規立竹伐採のための竹垣づくり」と、「竹林の新規伐採開始」になります。具体的に下記作業手順を追って行いますのでご協力願います。

いよいよ本来の作業突入となりますが、「安全第一」に一層心がけましょう。

早 々

記

○ 新規立竹伐採のための竹垣づくり

先に組み上げた竹垣に並行して、もう1カ所お山の入口方向に竹垣を作ります。法面との間を刈り払いし、次の倒竹処理に備えます。

前回作業と同様伐採した竹の幹や枝を竹垣内部に集積していきます。今回は集積の途中で竹垣の対面に杭を打ち、ロープを通して垣根が前面に倒れないように補強養生して作業を進めます。(集積物の重さで、ロープを引っ張り両サイドを牽引する方法。) →「図」参照

今回も竹の割れ、跳ねる竹枝など予期せぬ危険を伴いますので、顔面防護するなど十分気をつけてください。

場合によっては、法面の立竹を新たに伐採する必要も出ます。また、集積量が予想以上ですと、さらに竹垣を新規に作らなければならないかもしれません。

○ 竹林の新規伐採整備

上記作業に目途がついたら、いよいよ立竹の伐採整備にかかります。

以前、歩道の予定幅でピンクのテープを這わせましたが、その境界線内の竹林を整理します。エリア確認のあと倒れている竹を切り、足場を固めます。次に立竹の伐採にかかりますが、傘をさして自由に通り抜けられる間隔(竹と竹の間隔、約2m)を目途として密集している竹を間引き整備します。

伐採した竹は、面倒でも1本1本枝打ちを済ませ集積して、次の立竹伐採にかかります。倒すときは必ず大声で他の人に注意喚起してください。

相当の面積でこの作業を継続させますので、必要箇所では新たな竹垣を組みながら進めることとなります。先を見ながらみんなで話し合いながら地道に気長に作業を進めましょう。焦りは禁物です。

○ 残暑はまだ続きそうですので、前回同様次の点に留意してください。

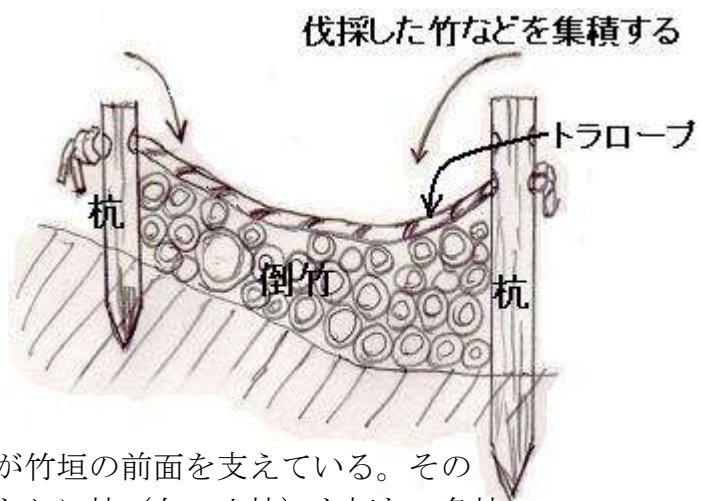
- ・ 暑いでしょうが長袖の作業に耐え得るような上着を着用してください。（作業用の「ツナギ」着用など。）
- ・ 水分補給は各自冷水・お茶などを入れた水筒を必ずご用意ください。
- ・ 頭部防護用の帽子、できればヘルメットを着用してください。
- ・ 足元防護のための長靴や作業靴を履いてください。
- ・ 汗拭き用のタオル、やぶ蚊に刺されないよう蚊取り線香、防虫スプレーなども用意してください。
- ・ 作業のための各自の機材は、忘れないよう目印をつけ、置き場所を決めておいてください。
- ・ 手袋は革製など頑丈なものを着用してください。
- ・ はねる竹枝から顔面、目を守るため、ゴーグルを着用してください。

それでは がんばりましょう !!

～ 9月24日（土）作業日には、作業後、午後4時ころからお寺で懇談会を予定しています。作業出欠にかかわらず都合をつけてお集まりください。最初の懇談会になります。～



朱線部分に竹垣を組む



右の杭が竹垣の前面を支えている。その後ろあたりに杭（左の小杭）を打ち、各杭の上部穴にトラロープを通して前後を牽引する。